



01 開催概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

全3回のプログラムによるワークショップを、東部市民センターで開催しました。

今回は第3回の様子をお伝えします。

日時：2024年5月26日（日）
10:00～12:30

会場：東部市民センター

参加者数：15名



当日のプログラム

第1回・第2回で考えたアイデアをさらに具体化！

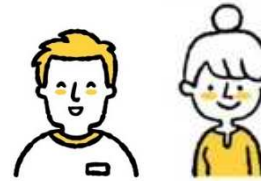
- 第1回・第2回の振り返り
- 個人ワーク
みんなでシェアしよう！
- グループワーク
- 全体発表



02 第1回・第2回振り返り

第3回は、第1回と第2回の各参加者が集まる合同開催。さらに、今回初めてという方の参加もありました。

そのため、第1回と第2回の取組アイデアを一覧資料で振り返り、参加者全員で、ワークショップで出てきた、参加者の興味・関心のあることや、取組アイデアを共有しました。



03 個人ワーク&みんなでシェアしよう！

「大学で地域の方たちと交流できる収穫体験・調理会」、「東部地域で収穫したブドウ・桃で料理」といった“食”にまつわるアイデアや、「空き家を活用した劇的ビフォーアフター」、「多世代が多様な学びのできる居場所づくり」、「企業との連携」などのアイデアが出てきました。

アイデアを共有する中で、活動アイデアへの想いが似ていることや、コラボできそうなアイデアがあることなど、参加者間の気づきも生まれました。

主体となって活動していきたい方は、さらに踏み込んだ内容や活動への想いも発表しました。他のメンバーは、自分が考えている活動の方向性と比べながら聞くことで、このあとのチーム分けの参考にしました。



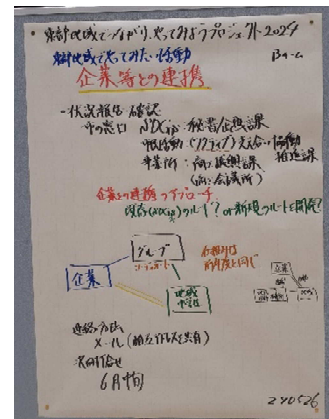
05 グループワーク・全体発表

主体となって取り組みたい方を中心としながら、参加者のみなさんがワークシートに書き込んだアイデアやシェアした内容をもちに、3つの活動テーマに分かれました。参加者は、自分が興味のあるテーマや方向性の近いグループに入り、ワークを行いました。

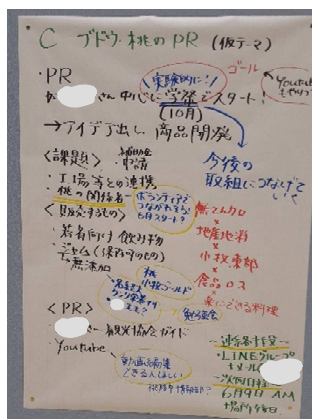
今回のワークショップでは、参加者はどれか1つのチームに入りましたが、今後自分で新たにチームを立ち上げたり、複数のチームに所属したりすることもできます。

第3回ワークショップで生まれた活動テーマ

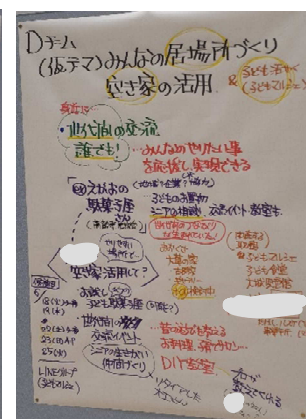
- ①企業等との連携
 - ②ブドウ・桃のPR
 - ③みんなの居場所づくり・空き家の活用
- ※こどもマルシェと一緒に活動内容を検討



①企業等との連携



②ブドウ・桃のPR



③みんなの居場所づくり・
空き家の活用
※こどもマルシェと
一緒に検討

今回のワークショップで生まれた活動テーマに沿って、各チームで活動の目的、取組んでいくこと、課題となりそうなこと等について話し合いをしました。

①「企業等との連携」チームでは企業へのアプローチ方法が課題として挙げられました。②「ブドウ・桃のPR」チームでは、桃の生産や加工に関わる専門知識を持った人や事業所とのつながりが必要となることなどが挙げられました。③「みんなの居場所づくり・空き家の活用」チームでは、世代間の交流を目的として、地域や企業に協力してもらいながら進めていけないか、などの意見が出ました。グループワークによって、ほかの方の経験やコネクションを知ること、今後の活動の幅を広げることにつながりました。

本日できた暫定のグループで今後の連絡手段と次回の打合せ日程を決めました。今後の打合せによってどのような活動が生まれるかが決まります。これからの活動に注目です！



▲グループワークの様子

